

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月12日 (2009.3.12)

【公開番号】特開2007-197357(P2007-197357A)

【公開日】平成19年8月9日 (2007.8.9)

【年通号数】公開・登録公報2007-030

【出願番号】特願2006-17401(P2006-17401)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/5415 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 31/5415

A 6 1 P 29/00

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/32

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月23日 (2009.1.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効成分、溶解補助剤としてクエン酸、酒石酸、リンゴ酸、乳酸及びアスコルビン酸から選択される酸類並びにそのアルカリ金属塩；アルカリ金属炭酸水素塩；及びアルカリ金属炭酸塩からなる群から選択される少なくとも一種を含有し、更に滑沢剤としてステアリン酸マグネシウム及びショ糖脂肪酸エステルを含有することを特徴とする乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 2】

前記の酸類のアルカリ金属塩が、クエン酸ナトリウム、クエン酸カリウム、酒石酸ナトリウム、酒石酸カリウム、リンゴ酸ナトリウム、リンゴ酸カリウム、乳酸ナトリウム、乳酸カリウム、アスコルビン酸ナトリウム又はアスコルビン酸カリウムであり、アルカリ金属炭酸水素塩が炭酸水素ナトリウム又は炭酸水素カリウムであり、アルカリ金属炭酸塩が炭酸ナトリウム又は炭酸カリウムである請求項 1 に記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 3】

前記の溶解補助剤が、クエン酸ナトリウム及び炭酸水素ナトリウムの組合せからなるものである請求項 1 に記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 4】

さらに、乳糖、エリスリトール、D-マンニトール、キシリトール、マルチトール、合成ケイ酸アルミニウム、ヒドロキシプロピルスターチナトリウム、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルスターチ、無水リン酸水素カルシウム及び還元麦芽糖水アメからなる群から選ばれる一種以上である賦形剤を含有する請求項 1～3 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 5】

さらに、結晶セルロース、粉末セルロース、低置換度ヒドロキシプロピルセルロース及びカルメロースからなる群から選ばれる一種以上である結合剤を含有する請求項 1～4 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 6】

さらに、クロスポビドン、カルメロース、カルメロースカルシウム及びカルボキシメチルスターチナトリウムからなる群から選ばれる一種以上である崩壊剤を含有する請求項 1～5 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 7】

さらに、軽質無水ケイ酸（二酸化ケイ素）である流動化剤を含有する請求項 1～6 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 8】

前記有効成分がメロキシカムである請求項 1～7 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 9】

下記成分；

有効成分がメロキシカム、
溶解補助剤がクエン酸ナトリウム及び炭酸水素ナトリウム、
賦形剤が乳糖及びエリスリトール、
結合剤が結晶セルロース、
崩壊剤がクロスポビドン、
流動化剤が軽質無水ケイ酸（二酸化ケイ素）、
滑沢剤がステアリン酸マグネシウム及びシヨ糖脂肪酸エステル、
からなる乾式直打速崩壊性錠剤。

【請求項 10】

有効成分としてメロキシカム、溶解補助剤としてクエン酸ナトリウム及び炭酸水素ナトリウム、並びに滑沢剤としてステアリン酸マグネシウム及びシヨ糖脂肪酸エステルを含有する混合物を直接打錠することの特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の乾式直打速崩壊性錠剤の製造方法。